

2023年11月14日

各 位

会社名 バルテス・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 田中 真史  
(コード番号: 4442 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役兼執行役員 西村 祐一  
(TEL. 06-6534-6570)

(訂正)「2024年3月期 第1四半期決算説明資料」の一部訂正について

2023年8月9日に開示いたしました「2024年3月期 第1四半期決算説明資料」におきまして、記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

2023年8月9日に開示いたしました「2024年3月期 第1四半期決算説明資料」のうち、①「連結販管費内訳、連結正社員入社人数」下表 FY2024 1Q 累計の人数(名)、前年同期比増減(名)、前年同期比(%) (12 ページ) 及び②「2024年3月期投資内容」1Q 採用数実績 (26 ページ) の記載数値に誤りがありましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

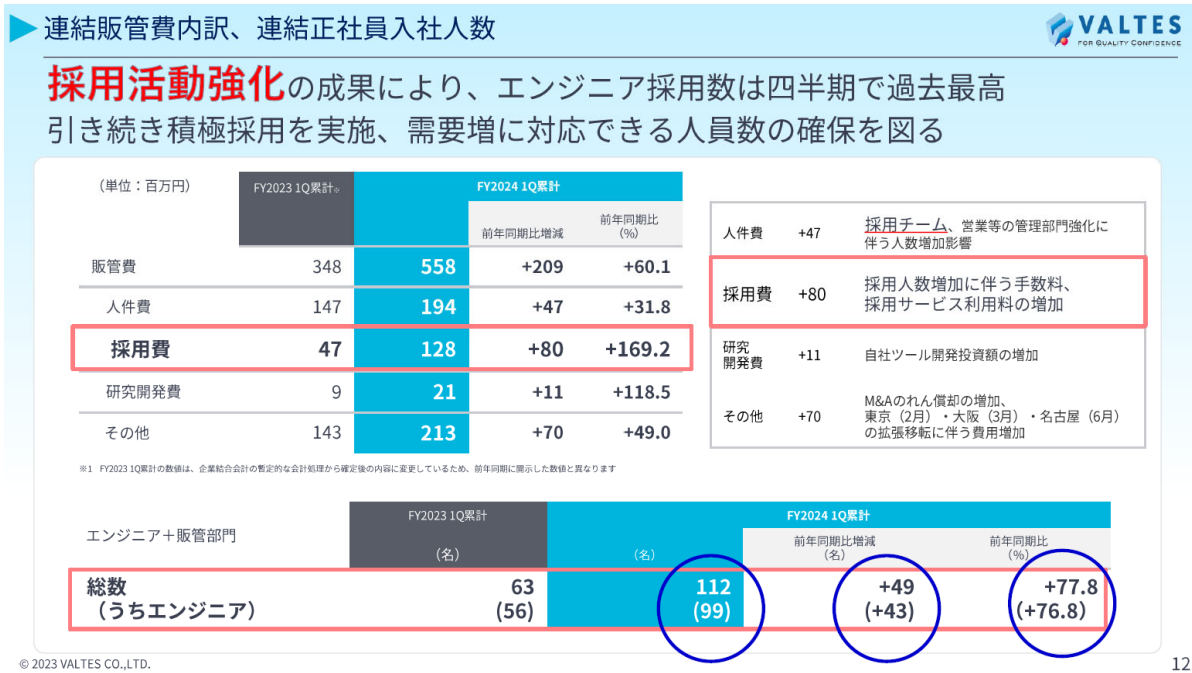
別紙をご参照ください。なお、訂正箇所は青丸枠で表示しております。

以上

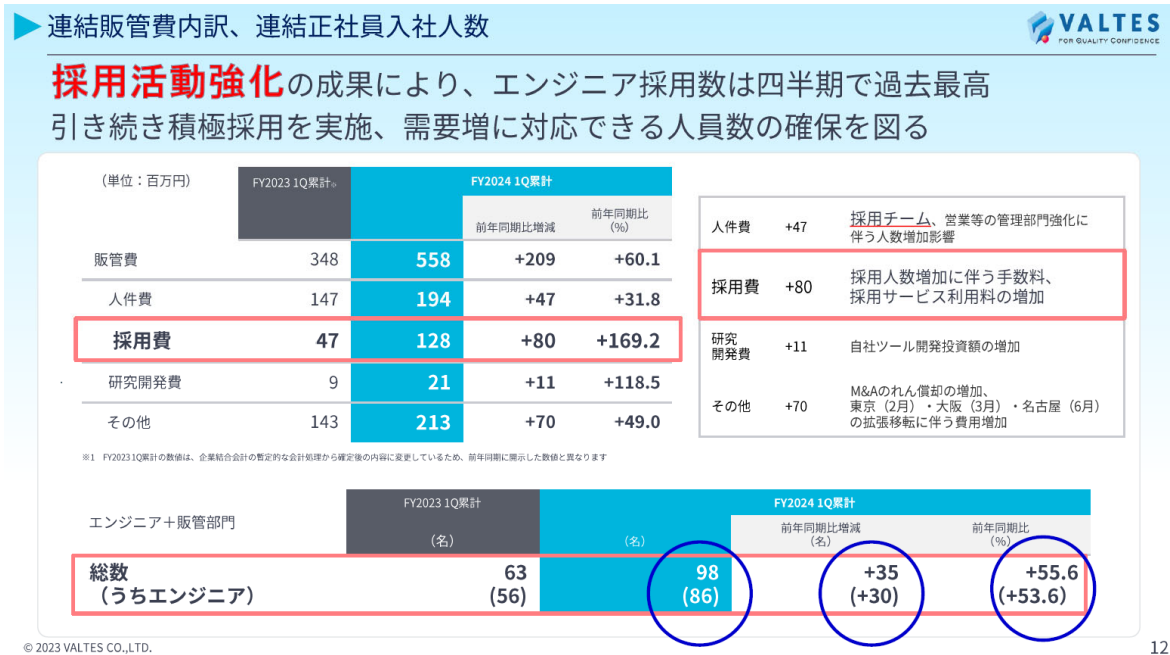
(別紙)

①「連結販管費内訳、連結正社員入社人数」下表 FY2024 1Q 累計の人数 (名)、前年同期比増減 (名)、前年同期比 (%) (12 ページ)

<訂正前>




<訂正後>





② 「2024年3月期投資内容」 1Q採用数実績 (26 ページ)

<訂正前>

2024年3月期投資内容 

## グループの持続的成長に向けて積極投資を継続

売上高100億円達成と  
新ビジョンの策定 


グループ全体の  
持続的事業拡大 

プライム市場上場を  
見据えた体制構築 **PRIME**


- ① 継続的的事业拡大に向け人材採用投資継続**
  - 採用チーム運用の組織化で採用効率化
  - 採用広報チームの充実で採用広告拡大、採用HPの刷新
  - 各種採用施策の充実
  - ビジネスパートナー採用チーム・制度の拡充
  - 1Q採用数実績：112名 (前期比+77.8%)
- ② グループ拡大に向けた組織体制強化投資**
  - プライム市場上場に向けたグループガバナンス整備のための諸制度投資
  - さらなる成長のための中期経営計画策定と重点施策投資
  - ホールディングス化を前提に、M&Aやグループ拡大に適した体制強化投資 (グループイン企業の自律的成長を後押し)
  - 株式会社シンフォアのグループイン、社外取締役過半数
- ③ マーケティング強化**
  - サブスクリプション型自社開発ツール※の拡販・普及投資
  - 追加開発投資を実施
  - ※ 自社開発ツールのご紹介は48ページにございます
- ④ 働きやすい環境整備**
  - 従業員の労働環境向上と業務拡大対応のための各拠点環境整備投資
  - 6月名古屋オフィス拡張移転


© 2023 VALTES CO.,LTD. 26

<訂正後>

2024年3月期投資内容 

## グループの持続的成長に向けて積極投資を継続

売上高100億円達成と  
新ビジョンの策定 

グループ全体の  
持続的事業拡大 

プライム市場上場を  
見据えた体制構築 **PRIME**

- ① 継続的的事业拡大に向け人材採用投資継続**
  - 採用チーム運用の組織化で採用効率化
  - 採用広報チームの充実で採用広告拡大、採用HPの刷新
  - 各種採用施策の充実
  - ビジネスパートナー採用チーム・制度の拡充
  - 1Q採用数実績：98名 (前期比+55.6%)
- ② グループ拡大に向けた組織体制強化投資**
  - プライム市場上場に向けたグループガバナンス整備のための諸制度投資
  - さらなる成長のための中期経営計画策定と重点施策投資
  - ホールディングス化を前提に、M&Aやグループ拡大に適した体制強化投資 (グループイン企業の自律的成長を後押し)
  - 株式会社シンフォアのグループイン、社外取締役過半数
- ③ マーケティング強化**
  - サブスクリプション型自社開発ツール※の拡販・普及投資
  - 追加開発投資を実施
  - ※ 自社開発ツールのご紹介は48ページにございます
- ④ 働きやすい環境整備**
  - 従業員の労働環境向上と業務拡大対応のための各拠点環境整備投資
  - 6月名古屋オフィス拡張移転

© 2023 VALTES CO.,LTD. 26

# 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年8月9日



# 目次

1. エグゼクティブサマリ P.3
2. 第1四半期決算概況 P.8
3. 業績見通し P.24
4. 成長戦略 P.28
5. ソフトウェアテスト事業環境 P.31
6. 当社の優位性 P.37
7. 会社概要 P.41

# 1. エグゼクティブサマリ



**過去最高** 売上高は前年同期比**+26.3%の24.6億円**、**過去最高を継続** ↗

**過去最高** エンタープライズ案件獲得により**単価は継続的に向上** ↗

**過去最高** 積極的な採用活動により**3カ月で約100名** ↗ のエンジニアを確保

人件費・研修費・採用費増は想定範囲内で営業利益は**計画より上振れで進捗** ↗

**過去最高** 将来の事業拡大に向け**正社員増** ↗ **稼働エンジニア数も増加** ↗

売上高

**24.6**億円

前年同期比 **+26.3%**

営業利益

**0.8**億円

**▲57.4%**

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

**0.5**億円

**▲57.2%**

単価  
(ソフトウェアテスト)

**749**千円

前年同期比 **+14千円**

稼働エンジニア数  
(2023年6月末時点)

**1,201**名

**+194名**

**正社員数**  
前年同期比  
**+122名**

案件数

**1,000**件

**+109件**

※株式会社シンフォーを2023年4月より新規連結しております  
※前年同期比は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更した後の数値を基にしております

## 単価、稼働人員数、案件数はいずれも前年同期比大幅UP

以下の数値はソフトウェアテストセグメントのみとなるため、前ページのエグゼクティブサマリ記載の「稼働人員数」「案件数」の数値が異なります。

単価※1 (千円)



- ▶ エンタープライズ領域の売上割合増加
- ▶ 既存顧客の継続好調
- ▶ テスト自動化導入支援の積極提案

稼働人員数 (名)



- ▶ 応募者数の増加
- ▶ ビジネスパートナーとの関係強化
- ▶ ジョイン企業との連携が順調

案件数 (件)



- ▶ 上流工程にPMO※2・QMO※3として参画多数
- ▶ マイグレーション※4案件の獲得増
- ▶ ターゲット業界のアプローチ好調（金融等）

※1 単価（月間）＝ソフトウェアテストセグメントの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）  
 ※2 Project Management Officeの略で、組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム  
 ※3 Quality Management Officeの略で、組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム  
 ※4 ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

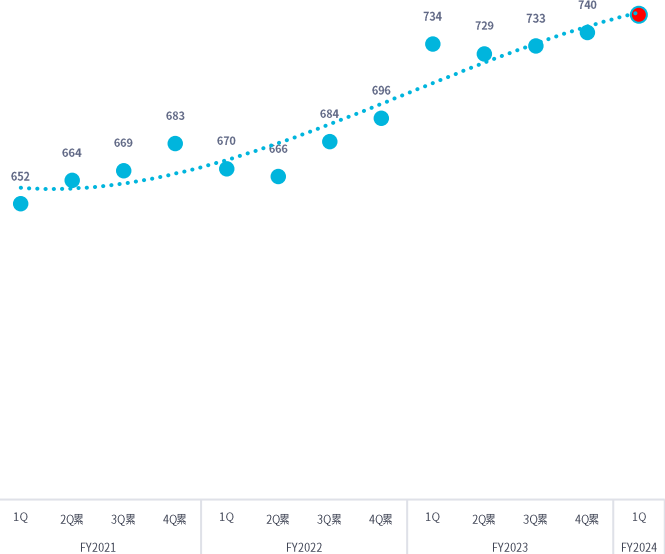


# 単価の推移（ソフトウェアテスト）、稼働エンジニア数の推移（連結）

単価**749千円**、エンジニア数**1,200名**を突破、更なる成長へ向け人員数を確保

エンジニア1人当たりの売上高（月間）  
（ソフトウェアテスト）

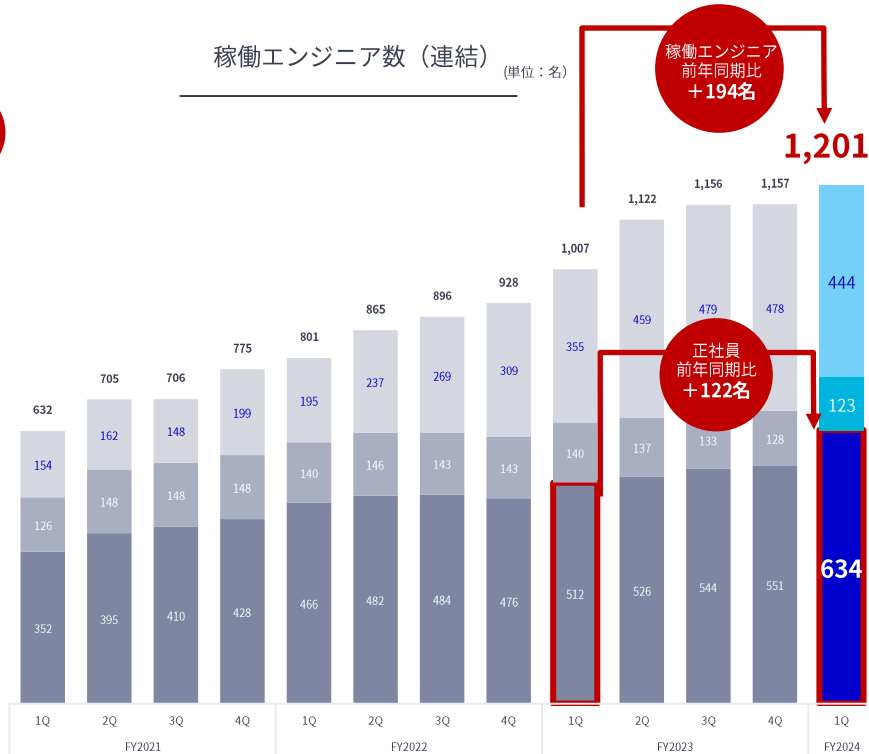
（単位：千円）



過去最高更新

稼働エンジニア数（連結）

（単位：名）



稼働エンジニア  
前年同期比  
+194名

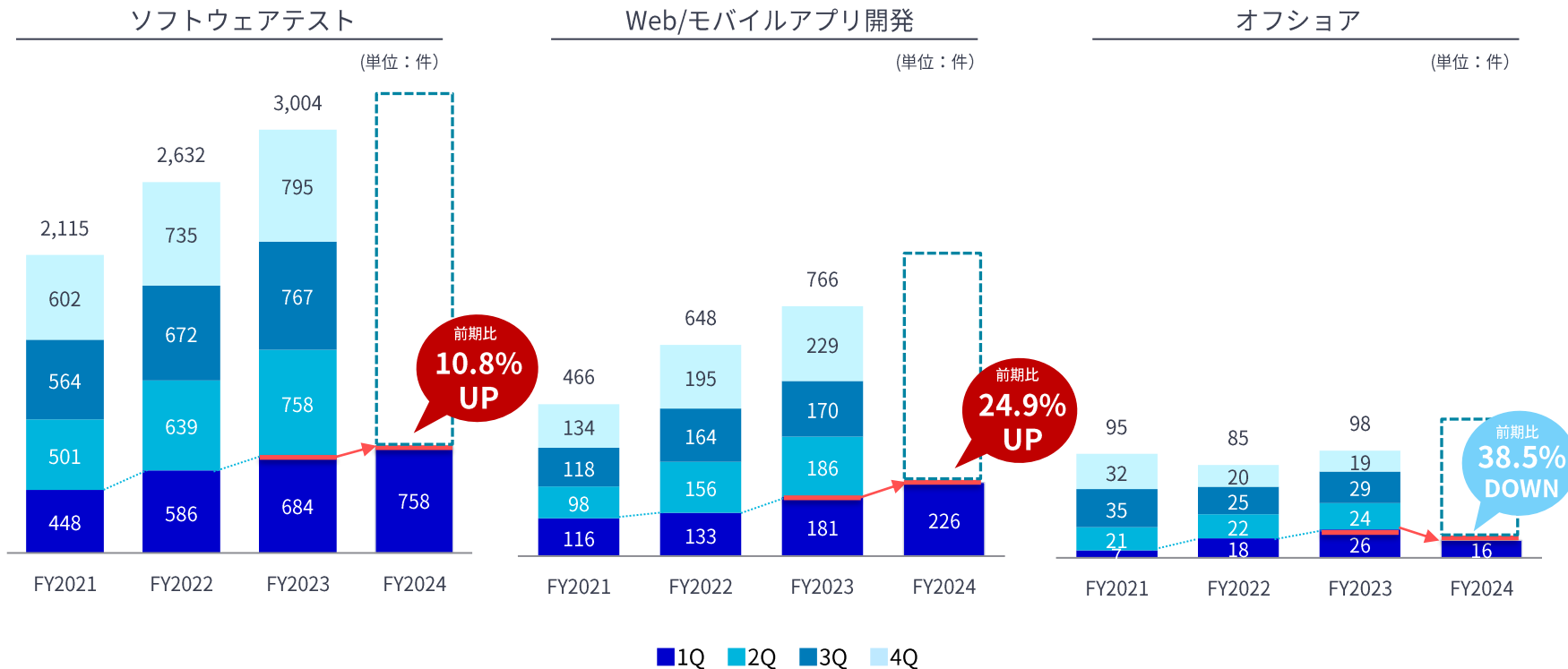
正社員  
前年同期比  
+122名

※エンジニア1人当たりの売上高（月間） = ソフトウェアテストの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）

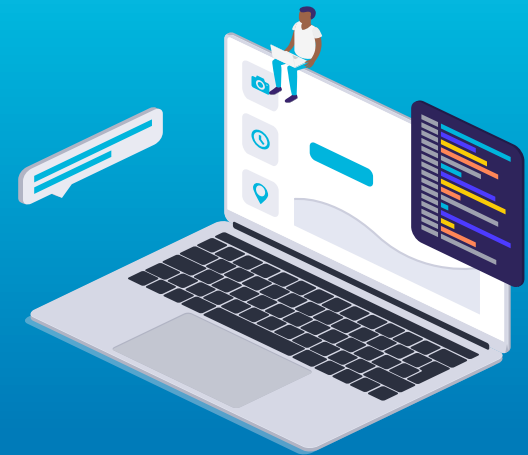
■正社員 ■契約社員 ■ビジネスパートナー

# セグメント別案件数の推移

## 3セグメント合計で案件数は**1,000件**



## 2. 第1四半期決算概況



前年同期比 売上高**+26.3%**と順調にスタート

利益面は、事業成長へ向けた人材確保費用が増加するも**計画より上振れの水準**

	FY2023 1Q累計※1		FY2024 1Q累計			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	1,952	100.0	<b>2,466</b>	<b>100.0</b>	<b>+514</b>	<b>+26.3</b>
営業利益	198	10.2	<b>84</b>	<b>3.4</b>	<b>▲113</b>	<b>▲57.4</b>
EBITDA※2	223	11.5	<b>124</b>	<b>5.0</b>	<b>▲99</b>	<b>▲44.3</b>
経常利益	202	10.4	<b>87</b>	<b>3.6</b>	<b>▲114</b>	<b>▲56.7</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	129	6.6	<b>55</b>	<b>2.2</b>	<b>▲74</b>	<b>▲57.2</b>
1株当たり 四半期純利益 (円)	19.11		<b>8.12</b>			

※1 FY2023 1Q累計の数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、前年同期に開示した数値と異なります

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費で算出

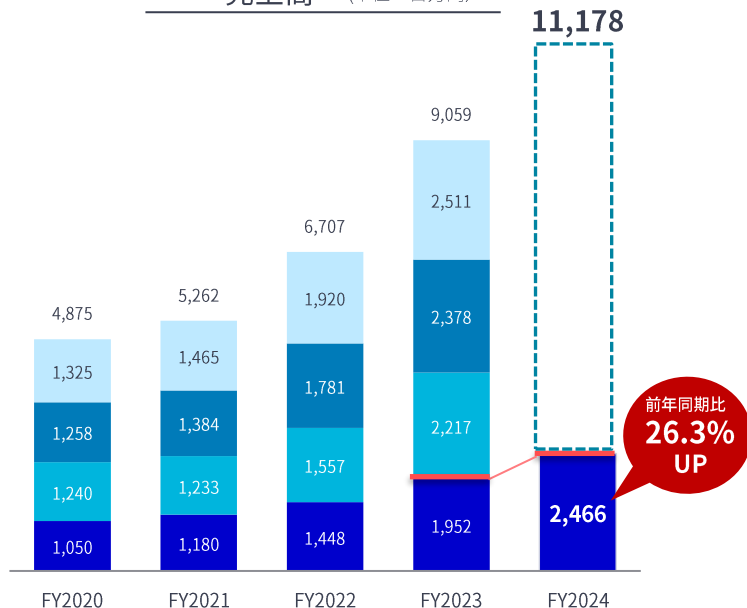
## 売上高

エンタープライズ系領域、DX需要を取り込んだWebサービス案件が堅調に推移  
株式会社シンフォーをM&A、4月よりグループイン

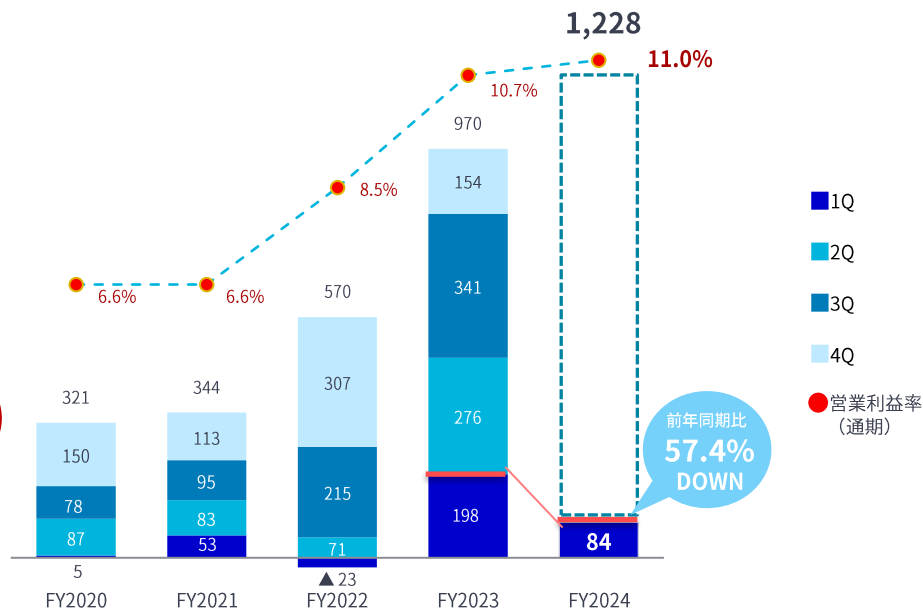
## 営業利益

採用活動強化や採用人数増加に伴う人件費、採用費、研修費用が増加するも、利益は計画より上振れで推移

売上高 (単位：百万円)



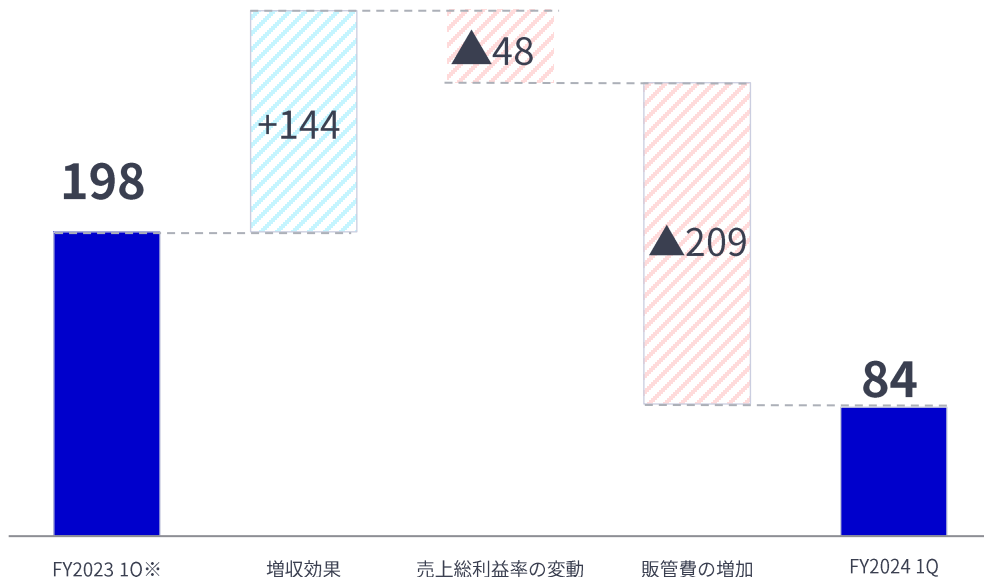
営業利益 (単位：百万円)



※ FY2023の数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、前年中に開示した数値と異なります

## 増収、計画通りの成長投資を実施し、営業利益は**計画より上振れの水準**

(単位：百万円)



増収効果

+144

ソフトウェアテスト +113  
Web/モバイルアプリ開発 +30  
オフショア +1

売上  
総利益率  
の変動

▲48

季節変動要因による変動  
1Q入社エンジニアが前期比+49名  
入社時研修により稼働に影響  
(新卒・未経験2カ月、経験者1カ月)  
2Q以降は案件アサインにより利益貢献

ソフトウェアテスト ▲32  
Web/モバイルアプリ開発 ▲9  
オフショア ▲6

販管費  
の増加

▲209

計画通りの成長投資  
正社員エンジニア採用数が前期比+43名  
引き続き積極的な採用活動を実施

人件費 ▲47  
採用費 ▲80  
研究開発費 ▲11  
その他 ▲70

※ FY2023の数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、前年同期に開示した数値と異なります

# 採用活動強化の成果により、エンジニア採用数は四半期で過去最高 引き続き積極採用を実施、需要増に対応できる人員数の確保を図る

(単位：百万円)

	FY2023 1Q累計	FY2024 1Q累計	
		前年同期比増減	前年同期比 (%)
販管費	348	<b>558</b>	<b>+209</b> <b>+60.1</b>
人件費	147	<b>194</b>	<b>+47</b> <b>+31.8</b>
<b>採用費</b>	<b>47</b>	<b>128</b>	<b>+80</b> <b>+169.2</b>
研究開発費	9	<b>21</b>	<b>+11</b> <b>+118.5</b>
その他	143	<b>213</b>	<b>+70</b> <b>+49.0</b>

人件費	+47	採用チーム、営業等の管理部門強化に伴う人数増加影響
採用費	+80	採用人数増加に伴う手数料、採用サービス利用料の増加
研究開発費	+11	自社ツール開発投資額の増加
その他	+70	M&Aのれん償却の増加、東京（2月）・大阪（3月）・名古屋（6月）の拡張移転に伴う費用増加

※1 FY2023 1Q累計の数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、前年同期に開示した数値と異なります

エンジニア+販管部門	FY2023 1Q累計	FY2024 1Q累計	
	(名)	(名)	前年同期比増減 (名) / 前年同期比 (%)
<b>総数 (うちエンジニア)</b>	<b>63 (56)</b>	<b>98 (86)</b>	<b>+35 (+30)</b> <b>+55.6 (+53.6)</b>

(単位：百万円)

	FY2023 1Q累計※		FY2024 1Q累計		前年同期比	
	実績		実績			
<b>売上高</b>	1,952		<b>2,466</b>		+26.3%	
ソフトウェアテスト	1,777		<b>2,187</b>		+23.1%	
Web/モバイルアプリ開発	223		<b>346</b>		+55.4%	
オフショア	17		<b>10</b>		▲39.3%	
セグメント間取引消去及び全社費用	▲65		▲78		-	
<b>営業利益 (利益率)</b>	198	(10.2%)	<b>84</b>	(3.4%)	▲57.4%	(▲6.8pt)
ソフトウェアテスト	200	(11.3%)	<b>126</b>	(5.8%)	▲36.8%	(▲5.5pt)
Web/モバイルアプリ開発	16	(7.2%)	▲7	(▲2.1%)	-	(▲9.3pt)
オフショア	▲0	(▲0.1%)	▲8	(▲80.1%)	-	(▲80.0pt)
セグメント間取引消去及び全社費用	▲17		▲25		-	

※ FY2023 1Q累計の数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、前年同期に開示した数値と異なります



## ソフトウェアテスト 四半期3ヶ月で最高の売上高**20億円超**

(単位：百万円)

連結1Q売上高

1,051

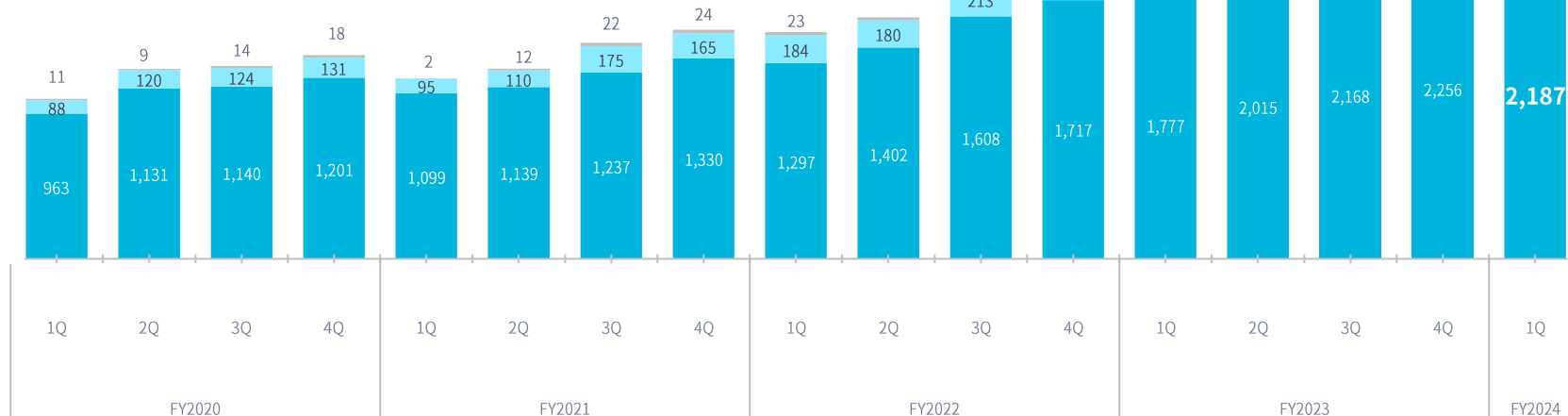
1,181

1,448

1,952

2,466

- ソフトウェアテストサービス
- Web/モバイルアプリ開発サービス
- オフショアサービス



※株式会社シンフォーを2023年4月より新規連結しております。  
 ※各セグメント売上の合計からセグメント間取引消去を調整するため、連結売上合計値とは異なります。

## 積極投資による**将来収益基盤**の整備を実施

(単位：百万円)

連結1Q営業利益

6

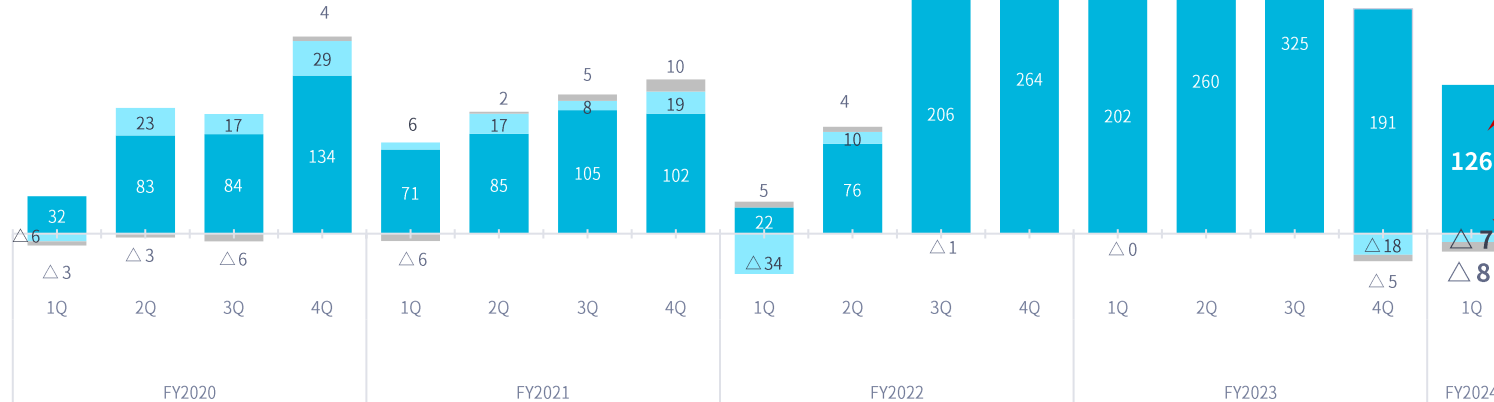
54

▲24

198

84

- ソフトウェアテストサービス
- Web/モバイルアプリ開発サービス
- オフショアサービス



ソフトウェアテスト採用費増加、入社時研修費用の発生

Web/モバイルアプリ開発のれん費用の増加  
不採算案件新規発生はなし

※株式会社シンフォーを2023年4月より新規連結しております。  
 ※各セグメント利益の合計からセグメント間取引消去および全社費用を調整するため、連結営業利益合計値とは異なります。  
 ※FY2023の数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、前年同期に開示した数値と異なります

## ソフトウェアテスト

(エンタープライズ案件、WEBサービス/組込み系案件、小売り系案件等)

### エンタープライズ案件の拡大・深化 更なる案件大型化・単価上昇



大型案件の上流工程  
からPMO<sup>※1</sup>・QMO<sup>※2</sup>  
としての参画増加、  
単価上昇へ



金融業界など  
ターゲット業種の  
受注拡大



マイグレーション案件  
の受注獲得



Webサービス案件の  
受注拡大



自社開発ツール間の  
連携強化  
社内活用による業務  
付加価値の向上



M & Aの強化



正社員採用部門の  
機能強化



ビジネスパートナー  
獲得の活動強化

※1 Project Management Officeの略で、組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

※2 Quality Management Officeの略で、組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

## Webモバイルアプリ開発

(アプリ開発、システム開発、セキュリティ診断)

セキュリティ事業拡大、  
新規技術を積極導入し高品質な開発を



セキュリティ需要の  
取込み加速



高品質な開発により  
単価の上昇へ



メタバースを  
利用した  
新サービスの開発



事業拡大に向けた  
人材育成

## オフショア

(オフショアテスト、オフショア開発)

エンジニアの教育を継続し品質向上  
「Japan Qualityを世界へ」



現地日系企業との  
取引拡大へ



積極採用とグループ  
一体の教育を継続



エンジニアのスキル  
向上で単価上昇へ



自社開発ツール利用  
の促進

6月26日、BtoBtoC向けに各社が活用できるメタバースプラットフォームとして  
自社開発の**VMVerse**を提供開始

活用できるメタバースへ  VMVerse

も新しい  
と身体  
近に  
験を



VMVerseは、住宅展示、展示会、ECといったビジネスシーンでの活用や、オフィスやイベントといったコミュニケーション空間まで、魅力的な空間を様々なデバイスで利用可能なプラットフォーム。

店舗出店やイベントブース設営、住宅展示などのホストとそれらの来場者（ゲスト）2種のロールを管理する機能を備え、「活用できるメタバース」として、ビジネス活用のための仕組みを構築。

3Dモデル処理による高画質な空間作成



iPhoneにも搭載されている**LiDAR**を使うと誰でも写実的な3Dモデルが作れ、バーチャル空間で商品や展示物として並べることが可能。

外部アプリケーション連携によるシームレスな体験



外部決済サービス（Stripeなど）と**標準で連携可能**。利用者はメタバース上で別アプリを立ち上げることなくスムーズに支払いを完了させられる。

## T-DASHは**開発のインフラ化**で開発エンジニアが使うツールへ QualityTrackerは7月1日に正式版をリリース

### 開発インフラ化へ



6/13にコマンドライン実行機能（β版）を実装。開発者がソースコード管理を行う「git」からT-DASHを起動させ、テスト実行を行うことが可能に。また、Windowsアプリケーションへの対応も今後実装予定。

これまでのテスト時に使うツールから、「開発時に使うインフラ」として進化！国内数万人のテストエンジニアから100万人以上の開発エンジニア※が使うツールへ。

#### コマンドライン実行機能



#### Windowsアプリ対応



### 正式版リリース



7/1に正式版のリリースをいたしました。100名以上の大規模開発プロジェクトにも導入・稼働されており、今後、当社のさらなる武器の1つへ。

#### QualityTrackerの特長



より正確な進捗管理



テストケースの資産化



テスト実施の効率化



リアルタイム集計

#### 期待効果

テスト管理者の工数の **30%** の削減効果

※当社プロジェクト実績より

# ソフトウェアテスト品質教育サービスを **ブランド化**

当社の競合優位性を活かし、更なる付加価値の向上へ

JSTQB®より日本初公認  
『Advanced Levelテストマネージャ』講座

**日本初!**

**JSTQB®**  
**Advanced Level**

テストマネージャ 試験対策講座

JSTQB®公認化のお知らせ



「JSTQB® Advanced Level テストマネージャ試験対策講座」が、JSTQB®より公認を受けました。

Advanced Level テストマネージャ試験を対象としたeラーニングの公認化は、本コンテンツが**日本初**となります。

ソフトウェア品質教育サービスの名称を「バルカレ」に統一

提供するソフトウェア品質教育サービスの名称を、「バルカレ」へと統一。当社の強みを活かし、さらなる付加価値向上へと繋げて参ります。

バルカレ 企業向け講座  
バルカレ オープン講座  
バルカレ eラーニング



「ソフトウェアテストの教科書」4回目の重版決定



シリーズ累計 3万5千部突破!  
好評につき  
**重版決定**

多くのエンジニアに入門書としてご利用いただいている「【この1冊でよくわかる】ソフトウェアテストの教科書[増補改訂 第2版]」が、技術書としては異例のシリーズ累計**35,000部**を突破。

## 働きやすい環境整備、従業員**ウェルビーイング**や採用力の向上へ



### 名古屋オフィス

移転先 : 名古屋市中区丸の内三丁目20番17号 KDX桜通ビル14F

営業開始日 : 2023年6月19日

東海エリアの好調な受注背景から、オフィスの移転、拡張を実施。  
より一層の働きやすい環境を整備、更なる社員のエンゲージメントや採用力の向上へ



	FY2023 1Q累計※		FY2024 1Q累計			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	1,952	100.0	<b>2,466</b>	100.0	+514	+26.3
売上原価	1,404	72.0	<b>1,823</b>	73.9	+418	+29.8
労務費	838	43.0	<b>1,028</b>	41.7	+190	+22.7
外注費	511	26.2	<b>730</b>	29.6	+218	+42.8
その他	54	2.8	<b>64</b>	2.6	+9	+17.5
販管費	348	17.9	<b>558</b>	22.6	+209	+60.1
人件費	147	7.6	<b>194</b>	7.9	+47	+31.8
採用費	47	2.4	<b>128</b>	5.2	+80	+169.2
研究開発費	9	0.5	<b>21</b>	0.9	+11	+118.5
その他	143	7.3	<b>213</b>	8.7	+70	+49.0

※FY2023 1Q累計の数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、前年同期に開示した数値と異なります

(単位：百万円)

資産の部	FY2023	FY2024 1Q	対前期末
現金及び預金	1,535	<b>1,487</b>	▲48
売掛金+契約資産	1,208	<b>1,198</b>	▲9
流動資産合計	2,894	<b>2,838</b>	▲56
有形固定資産	185	<b>232</b>	+47
のれん	350	<b>749</b>	+399
ソフト+ソフト仮	101	<b>104</b>	+2
無形固定資産合計	451	<b>853</b>	+402
投資その他の資産	558	<b>565</b>	+7
固定資産合計	1,194	<b>1,652</b>	+457
資産合計	4,089	<b>4,490</b>	+401

(単位：百万円)

負債の部	FY2023	FY2024 1Q	対前期末
買掛金	310	<b>276</b>	▲33
短期有利子負債	136	<b>206</b>	+69
未払金	556	<b>512</b>	▲44
流動負債合計	1,648	<b>1,372</b>	▲276
長期有利子負債	32	<b>657</b>	+624
固定負債合計	33	<b>658</b>	+624
負債合計	1,682	<b>2,030</b>	+347
純資産の部			
株主資本合計	2,407	<b>2,463</b>	+55
純資産合計	2,406	<b>2,460</b>	+53
負債純資産合計	4,089	<b>4,490</b>	+401

# 3. 業績見通し



## 過去最高売上、利益を更新見込み

上期は成長に向けた人材投資・制度投資が先行発生、下期以降に利益貢献

	FY2023 実績		FY2024 予想			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	対FY2023 増減 (百万円)	対FY2023 (%)
売上高	9,059	100.0	<b>11,178</b>	<b>100.0</b>	<b>+2,118</b>	<b>+23.4</b>
営業利益	970	10.7	<b>1,228</b>	<b>11.0</b>	<b>+258</b>	<b>+26.7</b>
EBITDA※1	1,078	11.9	<b>1,390</b>	<b>12.4</b>	<b>+312</b>	<b>+29.0</b>
経常利益	982	10.9	<b>1,233</b>	<b>11.0</b>	<b>+250</b>	<b>+25.5</b>
親会社株主に帰属 する当期純利益	651	7.2	<b>833</b>	<b>7.5</b>	<b>+182</b>	<b>+28.0</b>
1株当たり 当期純利益（円）※2	31.94		<b>40.72</b>			

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費で算出

※2 2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行う予定です。FY2023,2024の1株当たり当期純利益は当該株式分割を反映した後の数値となります。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

# グループの持続的成長に向けて積極投資を継続

売上高**100億円**達成と  
新ビジョンの策定



グループ全体の  
持続的**事業拡大**



プライム市場上場を  
見据えた体制構築

**PRIME**

## ① 継続的**事業拡大**に向け人材採用投資継続

- ・採用チーム運用の組織化で採用効率化
  - ・採用広報チームの充実で採用広告拡大、採用HPの刷新
  - ・各種採用施策の充実
  - ・ビジネスパートナー採用チーム・制度の拡充
- 1Q採用数実績：98名（前期比+55.6%）

## ③ **マーケティング強化**

- ・サブスクリプション型自社開発ツール※の拡販・普及投資
- 追加開発投資を実施

※ 自社開発ツールのご紹介は48ページにございます

## ② **グループ拡大**に向けた組織体制強化投資

- ・プライム市場上場に向けたグループガバナンス整備のための諸制度投資
  - ・さらなる成長のための中期経営計画策定と重点施策投資
  - ・ホールディングス化を前提に、M&Aやグループ拡大に適した体制強化投資（グループイン企業の自律的成長を後押し）
- 株式会社シンフォアのグループイン、社外取締役過半数

## ④ **働きやすい環境整備**

- ・従業員の労働環境向上と業務拡大対応のための各拠点環境整備投資
- 6月名古屋オフィス拡張移転

## 株式分割



### 普通株式 1株につき 3株の割合で分割

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めます。

投資家の皆様にとって、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ってまいります。

## 創業20周年記念配当



### 創業20周年記念配当 1株当たり 4円※

※株式分割による影響を反映後の金額となります。  
当初公表しておりました 1株当たり12円から実質的な変更はございません。

今後も順調な利益成長が見込めることから、株主の皆様への安定・継続的な還元のために、普通配当に関しても前向きに検討してまいります。

# 4. 成長戦略



## 4つの基本戦略と投資コントロールで**規模成長**と**高利益率**を両立

### ① 人的資本への投資

- ・積極的、計画的な人材採用
- ・未経験人材の早期戦力化
- ・キャリア人材の高スキル化
- ・外部人材の有効活用

成長を持続

### ② エンタープライズ領域拡大

- ・専門部署の設置
- ・ハイレイヤーの採用
- ・外部との協業
- ・ナレッジ蓄積

利益率向上、  
参入障壁構築

### ③ 知的財産の拡大

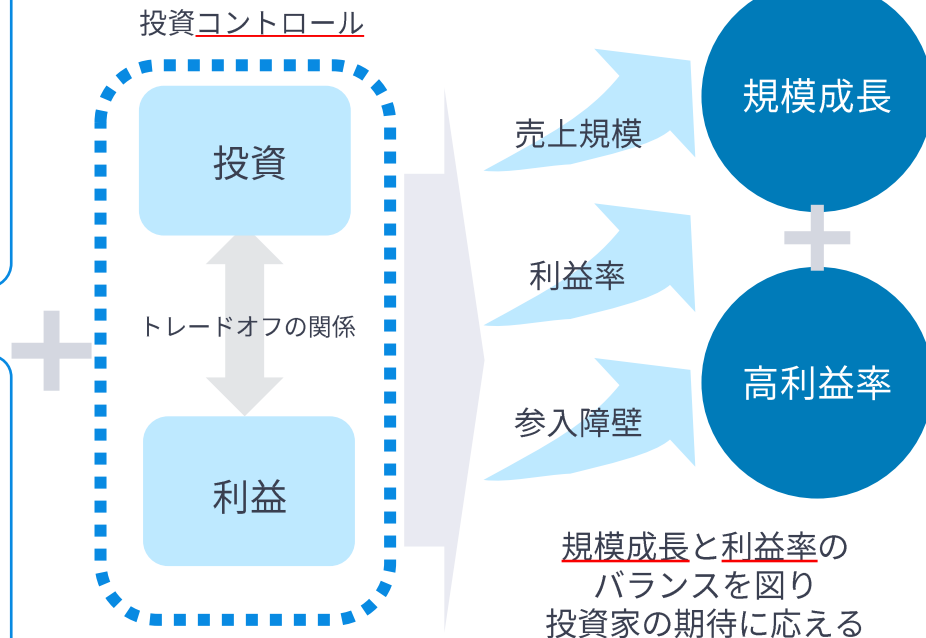
- ・テスト・教育ノウハウ蓄積
- ・ナレッジ蓄積
- ・新規技術の開発
- ・新技術企業への投資・協業

参入障壁構築、  
新たな価値創造

### ④ M&Aと組織強化

- ・既存領域のM&A
- ・ポートフォリオの多様化
- ・M&A組織体制の最適化
- ・グループガバナンスの向上

売上、企業価値、  
環境変化対応力向上



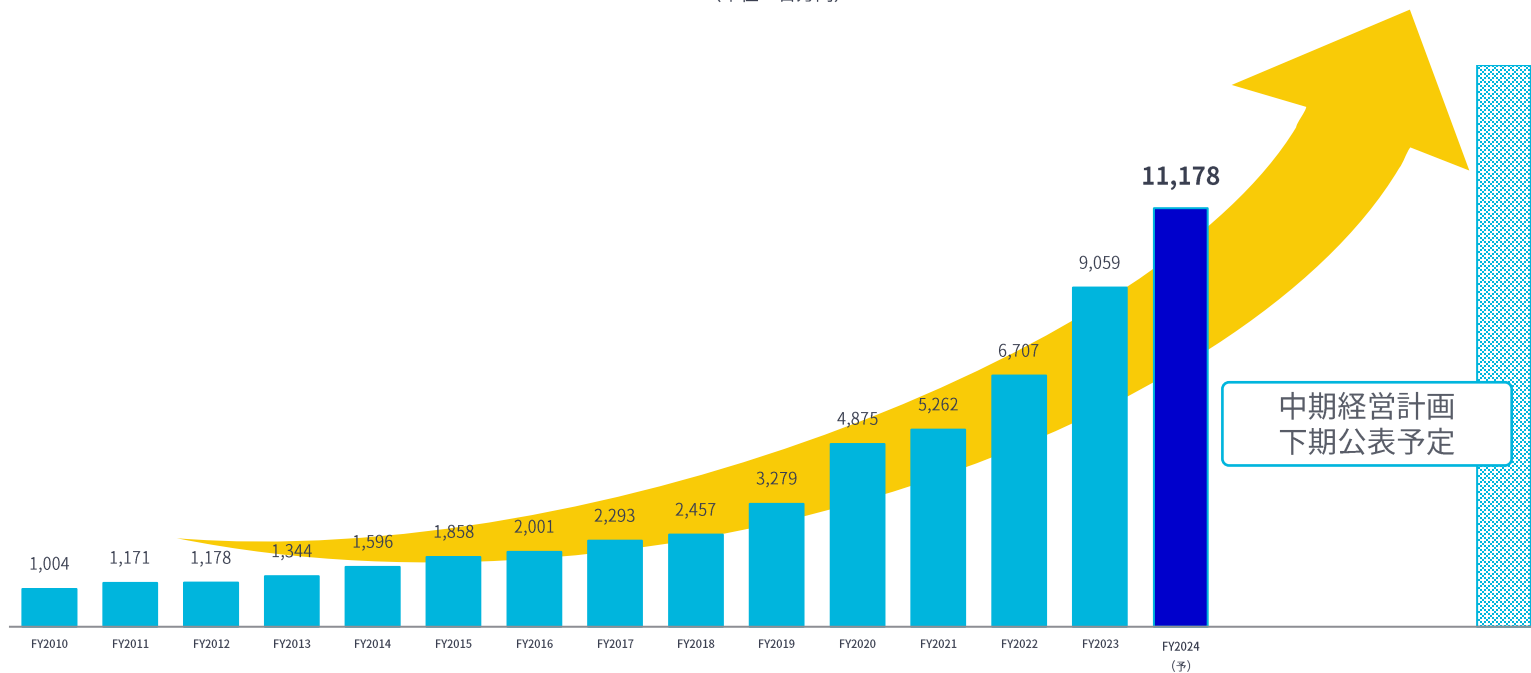
詳細につきましては、2023年6月30日に公表いたしました「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」を下記のURLよりご参照ください。  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4442/tdnet/2306944/00.pdf>



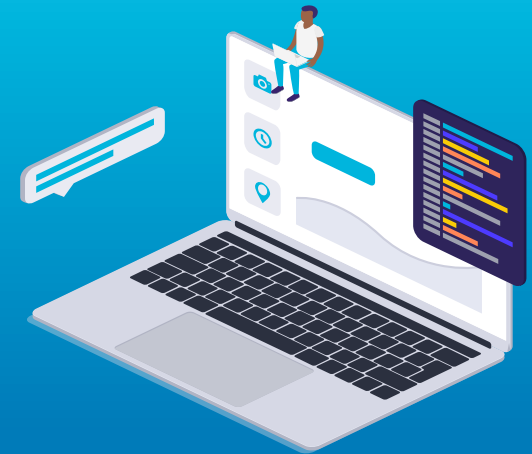
FY2024に売上高**100億円突破**、中期経営計画を下期公表予定

売上高の推移

(単位：百万円)

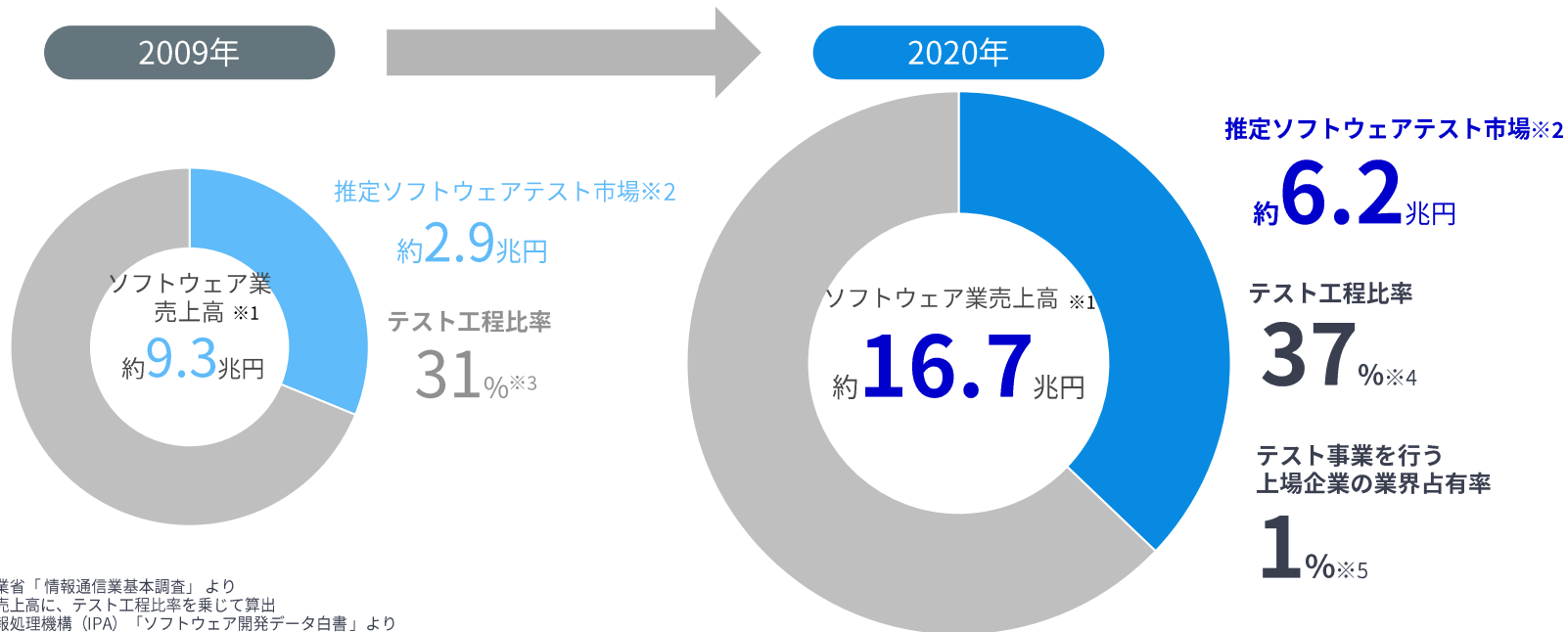


# 5. ソフトウェアテスト事業環境



## 当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は**約6.2兆円**

ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より  
※2 ソフトウェア業売上高に、テスト工程比率を乗じて算出  
※3 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発データ白書」より  
※4 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発分析データ集2020」より  
※5 テスト・デバック事業をメインとする上場企業の売上合計より

## ターゲット業界の高いCAGR、ソフトウェアテスト市場も**CAGR9.2%**

		市場規模			CAGR	出所
	エンタープライズIT	国内	2024年	12.8兆円	3.4%	IDC Japan 国内エンタープライズIT市場予測
	AI	世界	2029年	583億米ドル	52.5%	Blueweave Consulting & Research Private Limited Industrial Artificial Intelligence Market - Global Size, Share, Trend Analysis, Opportunity and Forecast Report, 2019-2029, Segmented By Offering ; By Technology ; By Application ; By Industry ; By Region
	メタバース	国内	2026年	1兆円	13.1%	矢野経済研究所 メタバースの国内市場規模予測
	Web/E コマース	世界	2027年	6.8兆米ドル	9.0%	IMARC Services Private Limited B2C E-commerce Market: Global Industry Trends, Share, Size, Growth, Opportunity and Forecast 2022-2027
	IoT	国内	2026年	9.1兆円	9.1%	IDC Japan 国内IoT市場 支出額予測
	車載ソフトウェア	国内	2025年	1.1兆円	4.5%	矢野経済研究所 車載ソフトウェア市場に関する調査

その他、国内外のソフトウェアテストが関係する業界の市場規模を合わせ、世界全体での可能性



	<u>ソフトウェアテスト</u>	世界	2027年	159.4億米ドル※	9.2%	Technavio Software Testing Services Market by Service, End-user, and Geography - Forecast and Analysis 2023-2027
--	------------------	----	-------	------------	------	---

※2022年から2027年にかけての増加額を表示しております

「官民一体のデジタル化」 「生活様式の多様化」 「サイバー攻撃の増加」  
**DXが加速、セキュリティ対策需要も増大**

## 生活様式の多様化

- テレワークの定着
- EC消費の定着
- オンラインコミュニケーションの定着
- 余暇時間の増加

## 官民一体のデジタル化

- 国/自治体のシステムの統一
- 行政のオンライン化
- 品質意識の向上

## サイバー攻撃の増加

- 身代金目的のサイバー攻撃増加
- 日本の大企業の多くがサイバーセキュリティ対策不十分

## デジタルトランスフォーメーション (DX) 加速

2.セキュリティリスク増

セキュリティサービス  
需要の増加

1.ソフトウェア開発

エンタープライズ領域の  
ソフトウェアテスト  
需要の増加

3.人材不足

人材不足を解消する  
手立てがカギ

## ソフトウェア開発企業の悩み

- コスト高な開発エンジニアの労働時間の約4割がテスト・検証に割かれる
- テスト工程は開発者のモチベーションが上がらず、非効率
- 開発者自身がテスト・検証を行うのは客観性が無く信頼性に欠ける

## テスト工程がアウトソースされなかった理由

- 大手SIerが案件を一括受注し、傘下の下請け・孫請けに発注。その開発エンジニアがテスト工程まで行う構造であった。

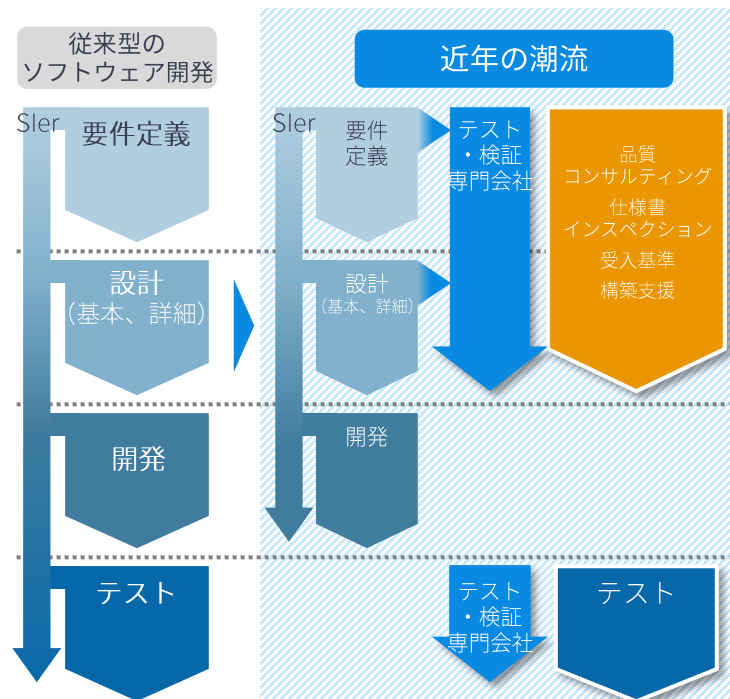


## テスト工程のアウトソース化が加速！

- 開発担当者によるテスト時間の短縮により、開発コストが減少（開発担当者がテストを実施する場合の※60%~70%程度で対応可）※当社調べ
- 再現性・共有性の高いテストの方法論（各社独自のメソッド）が確立することで網羅的で高効率なテストが実現可能に
- 第三者のテスト専門会社によるテスト・検証の有効性が注目

## ソフトウェアテストは 開発企業からテスト専門企業へ

ソフトウェア開発の業務フローの変遷



# ユーザー企業からの受入テストの増加

## 背景

- 各社がDX投資を推進（2018年に経済産業省が推進を提唱）
- 旧システムのマイグレーション、パッケージシステムの導入が増加。ユーザー企業から開発会社への発注増
- DX推進により、4年で約1.2兆円の市場規模拡大（ソフトウェア業売上高）



## ユーザー企業の悩み

- プロジェクトの品質が心配（技術スキルでSlerと対峙できない）
- 発注しているSler・開発会社の手戻り工数が多い
- ユーザー企業の人員不足（受入テスト時に要員確保が出来ない）



品質管理の第三者機関として、バルテスがユーザー企業をサポート

## 当社の立ち位置と支援項目

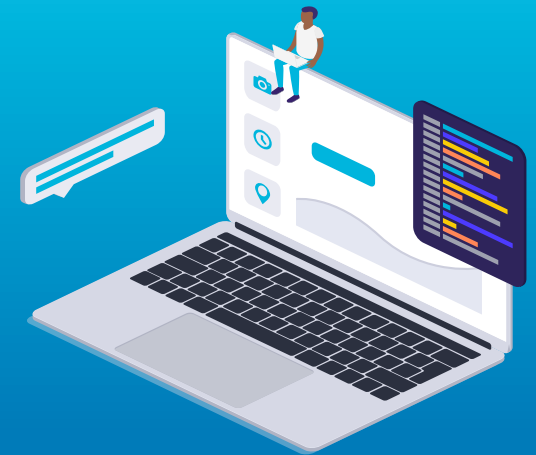


- 受入テストの上流工程支援（次フェーズへの移行基準・リスクの洗い出し等）
- 総合テスト支援および品質管理提案（Sler・開発会社への提案をユーザー企業と実施）

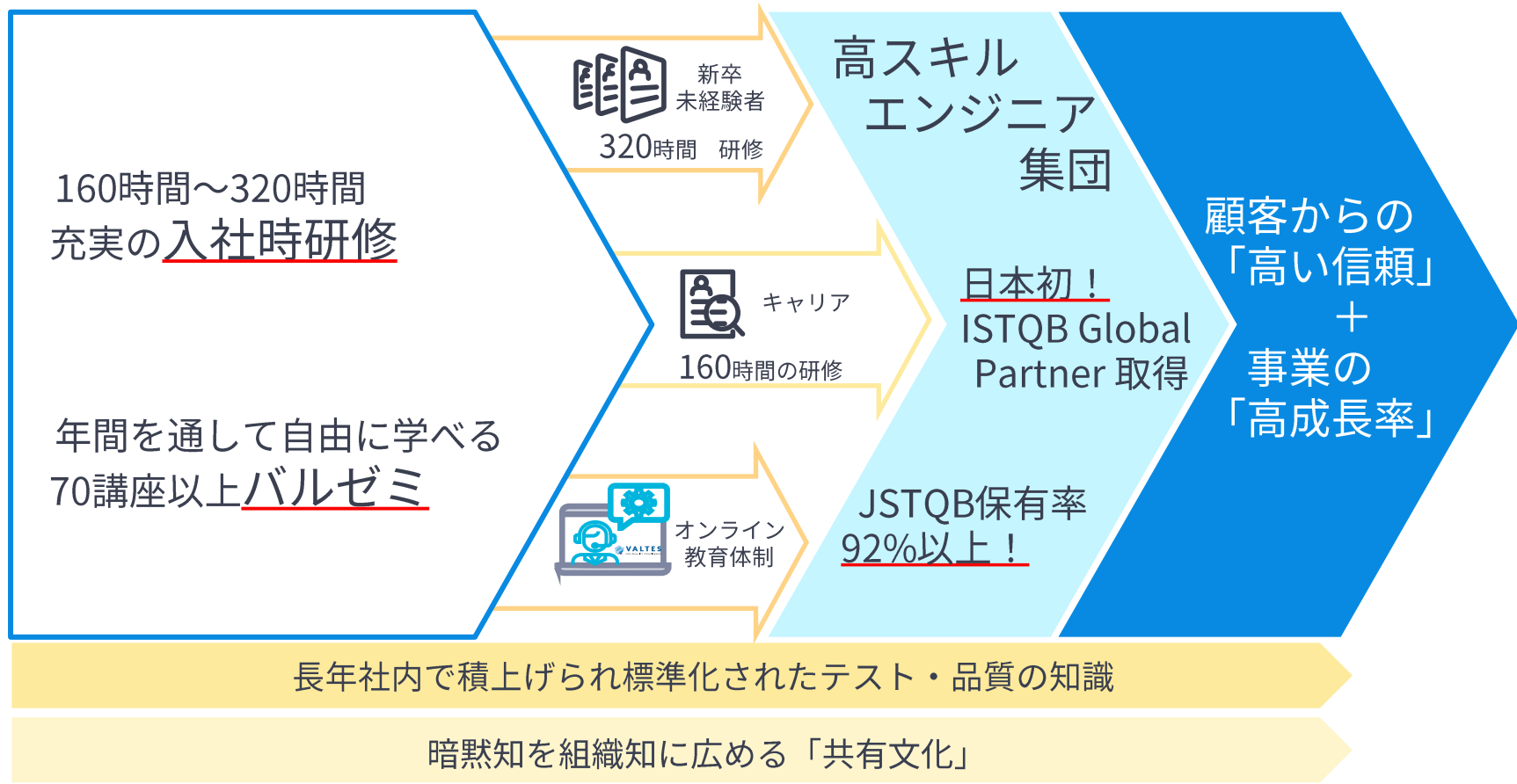
当社がQCD※を管理・支援  
ユーザー企業からの依頼が増加中

※QCD：Quality(品質)・Cost(コスト)・Delivery(納期)の頭文字をとった用語

# 6. 当社の優位性





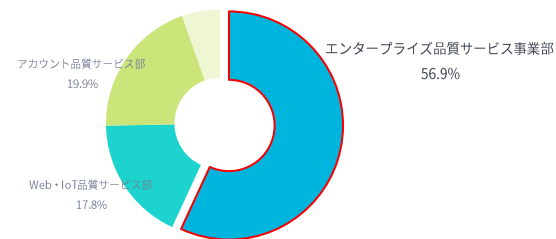


## エンタープライズ領域の特徴

- 単価 **高** 案件規模 **大** 契約期間 **長**
- 開発、業務知識等、テスト以外の知識を求められる → 難易度 **高**
- マイグレーション等※の増加で市場は**拡大**

※ソフトウェアやハードウェア、システム、データ、開発言語などを別のプラットフォームに移行したり、新しいシステムに切り替えたりすること

部署別売上高構成比 FY2023



ソフトウェアテスト売上全体の **50%** を占めるまでに成長

## 当社の優位性

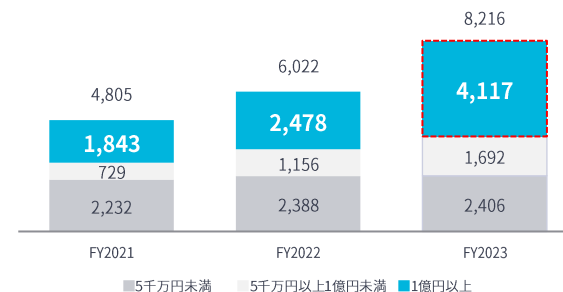
エンタープライズ専門部署を2020年4月に設立  
組織体制の強化により専門性が向上



- 専門部署による組織的対応 ・ 経験豊富なハイレイヤーの採用
- 本領域に強い人材を供給可能な外部協力会社との取引拡大
- 質、量ともに豊富な当社のテストノウハウ
- 上流工程からの品質支援ニーズに対応

取引先あたり売上規模別の売上高推移 (ソフトウェアテスト)

(単位: 百万円)



案件の大型化が進む

## サイバー攻撃増加

- 企業へのアタック増加
- 企業の多くがサイバーセキュリティ対策不十分



個人情報取得



サイト改ざん



不正ログイン



### セキュリティ・脆弱性診断サービス

脆弱性の可視化・治療

- ハッキング等の脆弱性を確認する  
診断サービス+脆弱性向上のための対策アドバイス
- 直近4年CAGR 30.3%と順調に拡大



### 攻撃可視化・防御ツール「PrimeWAF」

攻撃に対する防御

- 初期費用0円で導入可能
- サイバー攻撃を可視化、その攻撃のみをブロック
- 分かりやすいUIで、攻撃防御の「結果」が明確
- 低コスト、カンタン導入で中小企業も利用可能

サイバー攻撃に関し、点ではなく線で対策を行う  
セキュリティサービスが提供可能に

# 7. 会社概要



# 「品質向上のトータルサポート企業」 経営方針に掲げ、事業を展開

会社名	バルテス株式会社
会社設立	2004年4月
上場	2019年5月 東証マザーズ (現 東証グロース 証券コード：4442)
本社住所	大阪市西区阿波座1-3-15 (大阪本社)
事業内容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
グループ会社	バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 株式会社アール・エス・アール 株式会社ミント 株式会社シンフォー VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines) バルテス分割準備株式会社
従業員数	888名 (2023年6月末 グループ7社計)
内、総エンジニア数	757名 (2023年6月末 グループ7社計)
総資産	4,490百万円 (2023年6月末 グループ7社連結)



代表取締役社長

田中 真史  
Tanaka Shinji



私たちは品質にコミットし、安心・安全なICT社会の実現に貢献します。



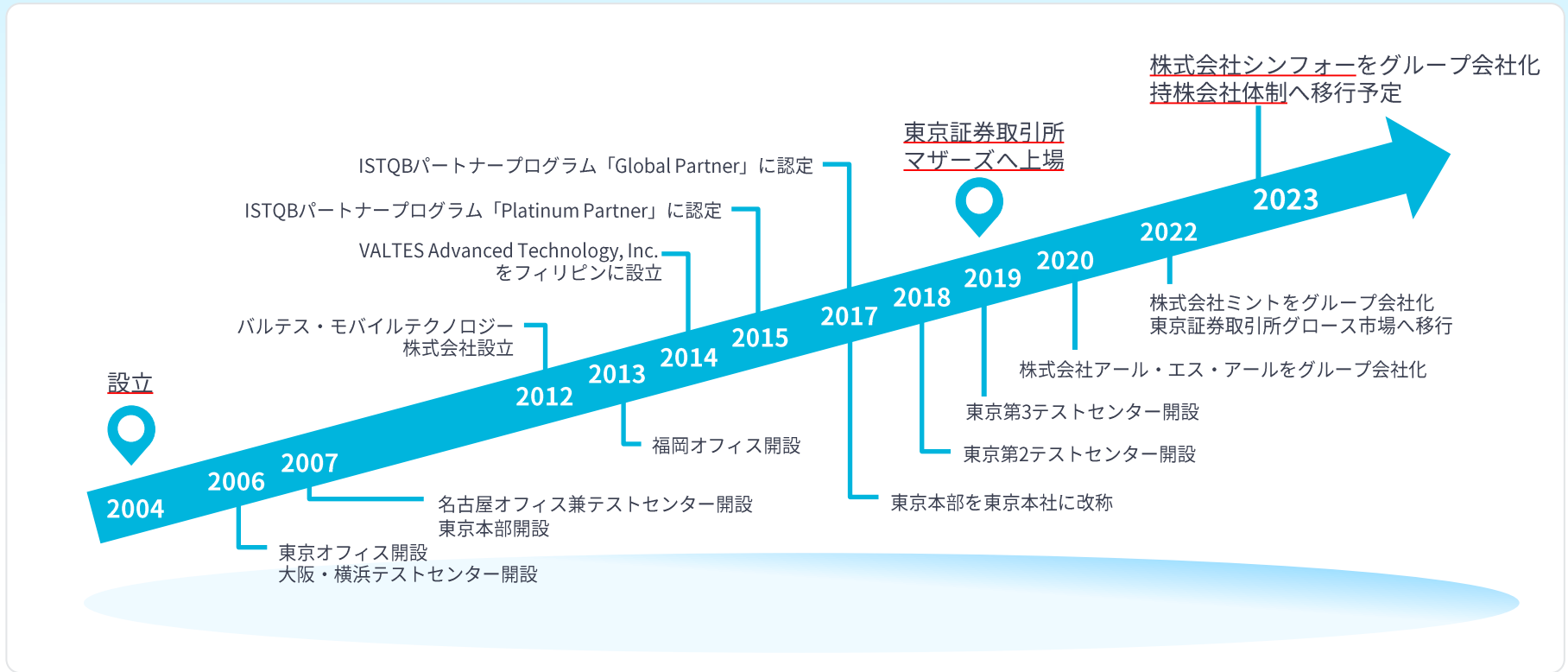
私たちはICT社会に貢献する人材を育成します。

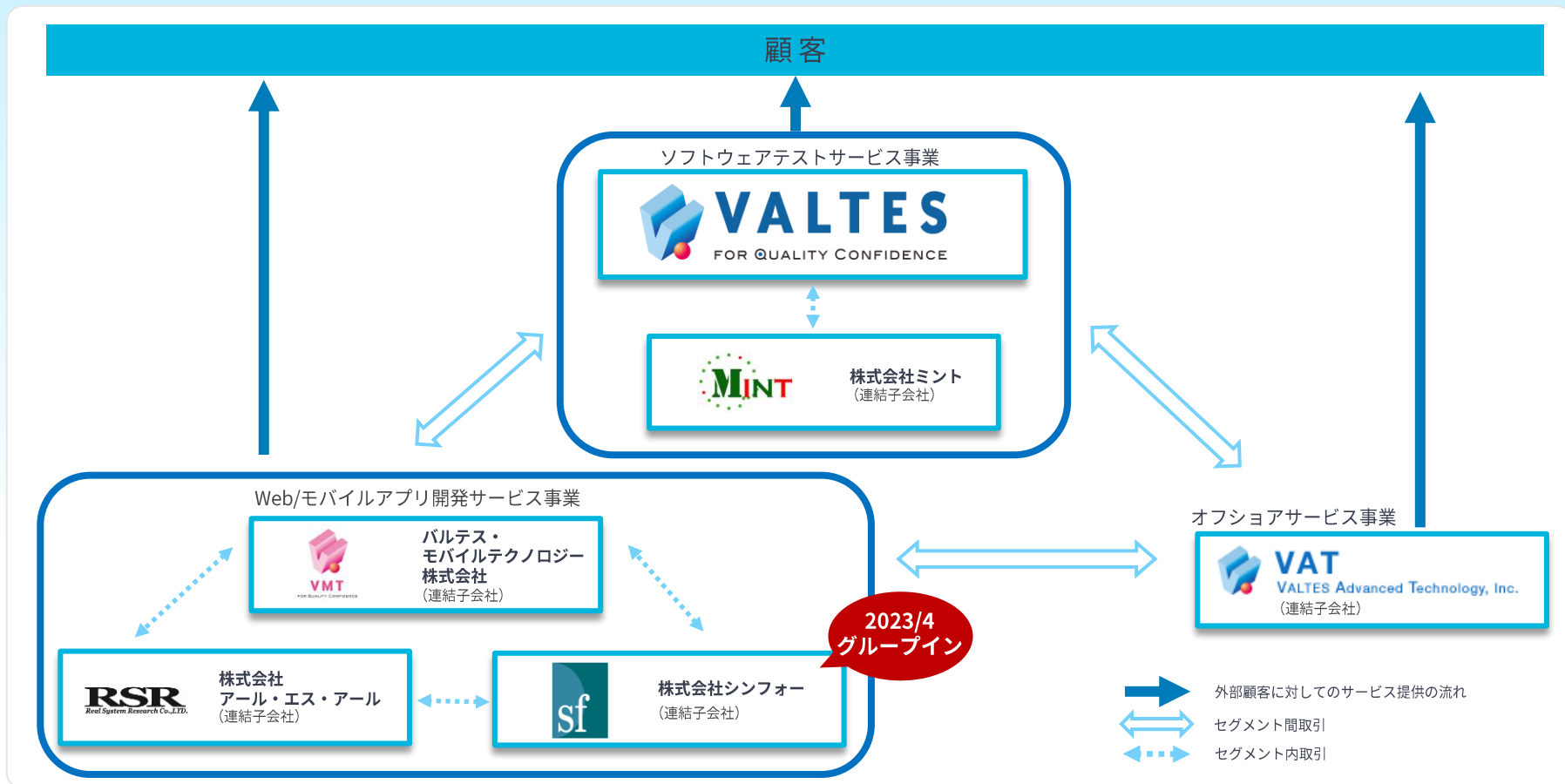


私たちは多くの価値を創り、お客様と共に喜びを分かち合います。

2004年4月、設立。ソフトウェア品質に関わるサービスを提供。

ソフトウェアテスト専門会社として、**年間3,000件以上**のプロジェクト実績







## 高スキル エンジニア

- エンジニア適正試験
  - 独自の研修カリキュラムによる早期戦力化
  - JSTQB※1保有率92%以上！（入社2年目以降の正社員）
  - ISTQB※2 Global Partner
- ※全世界8社のみ、日本初！

## 豊富な実績

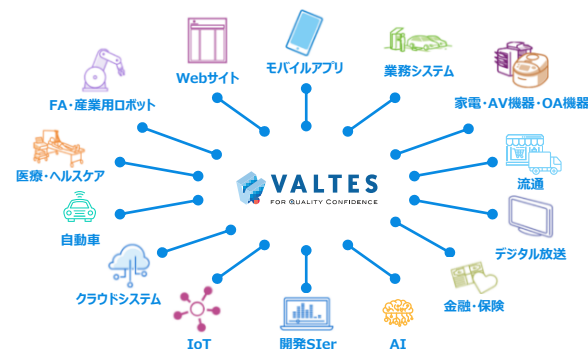
- 業種毎の豊富なテスト観点
- 年間約3,000プロジェクト、1,000社以上の導入実績

## 標準化・ プロセス

- ISO/IEC/IEEE 29119※3準拠テンプレート
- QUINTEE※4（テストの進行基準）
- 標準化されたテスト設計手法による  
抜け漏れ・誤認識を排除



日本で初のグローバルパートナー



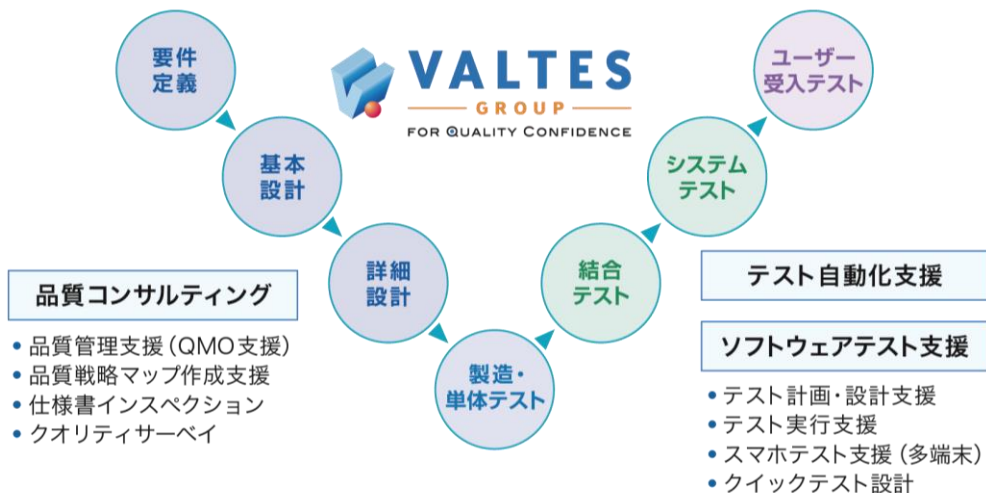
※1：JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)とは、国内のソフトウェアテスト技術者認定組織のこと

※2：ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)とは、世界130カ国のテスト技術者認定組織のこと

※3：ISO/IEC/IEEE 29119とは、ソフトウェアテストの統合的な国際規格のこと。ISO、IEC、IEEEという3つの標準化団体が合同で策定しているため、この名称で呼ばれる

※4：QUINTEEとは、当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したもの

# ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質向上支援サービスを提供



マイグレーションテスト支援

非機能要求

アジャイル開発テスト支援

- 脆弱性診断 (Web/ モバイル/ IoT)
- パフォーマンステスト

DX支援

- AIプロダクト品質向上支援
- ローコード品質向上支援

品質教育

- 企業向け講座
- オープン講座
- eラーニング

**テストツール**

**T-DASH**  
日本語でつくるテスト自動化  
テスト自動化ツール

**AnyTest**  
いつでも、どこでも  
クラウドで実機テスト

**QualityTracker**  
品質が見えるテスト管理  
テスト管理ツール

**PrimeWAF**  
サイバー攻撃可視化ツール

## 当社サービス一覧

### 1 テスト情報プラットフォーム「Qbook」

ソフトウェア品質向上のためのプラットフォーム。バルテスが培ってきたテスト・品質向上ノウハウを無料で提供



### 2 テスト自動化ツール「T-DASH」

非エンジニアでも“カンタン”にWebアプリケーションの動作確認・検証を可能にするテスト自動化ツール



### 3 従量制のクラウド型WAF「PrimeWAF」

簡単・低価格で導入可能なクラウド型のWAFサービス  
様々なサイバー攻撃からWebサイトを防御



### 4 いつでもどこでも実機テスト「AnyTest」

クラウド上で実機を遠隔操作  
豊富な機種・OSのラインナップ  
リモートなのにラグのない操作感



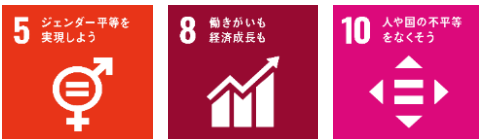
### 5 品質が見えるテスト管理「QualityTracker」

テスト実行時の進捗管理と  
テストケースの管理がこれ一つで  
見える化

2023/7  
正式版  
リリース



## 働きやすい環境の整備



- ・男性育休制度 取得率50%
- ・有給休暇 取得率81%
- ・フレックスタイム制度
- ・ホワイト企業認定 ゴールドランク取得
- ・産業保健師の活用
- ・オンライン含む懇親会補助
- ・JISEDAI手当（若手社員向け住宅手当）の導入
- ・従業員向け譲渡制限付株式報酬制度

【社員インタビュー】異業社員の育休取得実績



▲育休実績のある男性社員のインタビュー記事を、社内でも積極的に展開し、取得を推奨



▲オンライン懇親会制度などを設けて在宅勤務社員のフォローも実施

## IT人材の創出



- ・充実した社内研修システム
- ・当社のソフトウェアテストノウハウを生かした資格支援サービスの提供
- ・ソフトウェアテストに関する技術書籍の出版
- ・ソフトウェア品質向上プラットフォーム「Qbook」の運営
- ・テスト技術をゼロから学べる無料eラーニングコンテンツの公開



▲未経験者は2カ月、経験者でも1カ月の入社時研修を実施

## 技術革新の拡大を図る



- ・京都工芸繊維大学との共同研究論文の発表や「T-DASH」を用いたテスト自動化の共同研究の実施
- ・ソフトウェア製品の品質確保のために世界中の企業とパートナーを組むことで目標達成を実現

## 安心・安全なまちづくり



- ・ソフトウェア製品のテストを実施し品質を確保することで、安心・安全なICT社会を実現

## サステナビリティ委員会の設置

サステナビリティに係る取組みや、環境・人権方針の策定、当社グループへの浸透と進捗状況のモニタリングを実施



## 監査等委員会設置会社への移行

取締役の職務執行の監査等を担う監査等委員を取締役会の構成員とし、取締役会の監督機能を強化し、更なる監視体制の強化を通じてより一層のコーポレート・ガバナンスの充実を図る



2023/6/23開催  
第19期定時株主総会で承認可決

## 社外取締役の積極登用

高度な専門性を持つ社外取締役の登用で、当社グループの成長の更なる加速とガバナンスの強化を図る



取締役7名中、  
過半数の5名が社外取締役

## 持株会社体制への移行（予定）

持株会社体制移行にて、持株会社及び各事業会社の権限と責任を明確化・管理機能を集中化することでガバナンスの向上を図る



2023/10予定  
持株会社体制への移行

## ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに  
当社が計画・予想したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があります、  
この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。  
なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。



